

令和6年度

一般会計補正予算  
(第2号)

実施計画書

## 実施計画書（補正予算）

事業名		老人福祉センター管理費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号		
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）							
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを			
	10	人や国の不平等をなくそう		16	平和と公正をすべての人に				
実施主体	養父市		担当課	健康福祉部 社会福祉課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算		
予算費目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	老人福祉施設費
根拠法令等	養父市								
事業目的	対象	八鹿老人福祉センター							
	背景と目的	<p>八鹿老人福祉センターの空調設備は設置年度は不明であるが、建築当初（昭和57年）と思われ、近年では経年劣化により水漏れや稼働時の異常音などがある。令和6年1月には熱源機器が故障し暖房機能の使用が不可となった。また、冷房機能についても経年劣化が顕著であり、特に2階集会室については昨今の夏の猛暑に対応できず利用するには困難な状況である。</p> <p>同センターは、災害時には指定緊急避難所として指定されるものであり、また八鹿文化会館が無くなった今、会議室としての利用が増えている状況にある。</p> <p>よって、空調設備の早期改修が必要である。</p>							
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>当初計画では令和7年度に空調設備改修に係る設計業務委託及び改修工事を予定していたが、上記背景を理由に早期工事着工への必要性が生じ、令和6年度に設計業務を前倒しし、令和7年度早々に工事着工としたい。よって、当初予算に計上していなかった設計業務委託料の補正を行うものである。</p> <p>【歳出】 委託料 2,763千円</p>							
区 分	既決予算額（千円）		補正予算額（千円）			予算総額（千円）			
事業費	18,573		2,763			21,336			
財源内訳	一般財源	7,080		2,763			9,843		
	国支出金	0		0			0		
	県支出金	0		0			0		
	地方債	0		0			0		
	その他	11,493		0			11,493		

## 実施計画書（補正予算）

事業名		林道維持管理費		枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）						
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を			
	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市		担当課	まち整備部 建設課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算	
予算費目	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	4 林道事業費		
根拠法令等								
事業目的	対象	市管理林道の利用者						
	背景と目的	林道八木谷大谷線にて、林道パトロールの際、路肩が崩落し通行が困難となっている箇所を確認した。森林施業に必要な車両の通行が確保できるよう本工事をもって復旧する。						
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>○林道八木谷大谷線道路維持工事</p> <p>施工延長 L=13.5m 大型かご枠工 A=98.0m<sup>2</sup></p> <p>【歳出】工事請負費 18,300千円</p>						
区 分	既決予算額 (千円)	補正予算額 (千円)		予算総額(千円)				
事業費	37,549	18,300		55,849				
財源内訳	一般財源	21,549	18,300		39,849			
	国支出金	0	0		0			
	県支出金	16,000	0		16,000			
	地方債	0	0		0			
	その他	0	0		0			

## 実施計画書（補正予算）

事業名		道路橋りょう補修事業費		枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）						
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を			
	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市		担当課	まち整備部 建設課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算	
予算費目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう維持費		
根拠法令等								
事業目的	対象	市道、橋梁の利用者						
	背景と目的	<p>養父市では舗装修繕計画が未策定であり、舗装工事の実施にあたっては過疎対策事業債を充当し、実施している。本業務の実施により舗装の健全性を診断し、データ解析により効果的かつ計画的に工事を実施することが可能となる。また、計画策定により、舗装工事（表層+路盤）を社会資本整備総合交付金の対象工事とすることができ、市負担額の低減が図れる。</p>						
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>○養父市舗装修繕計画 調査策定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面性状調査業務 66路線、L=83km</li> <li>・養父市舗装修繕計画策定 1式</li> </ul> <p>【歳出】委託料 7,000千円</p>						
区 分	既決予算額（千円）		補正予算額（千円）		予算総額(千円)			
事業費	523,800		7,000		530,800			
財源内訳	一般財源	10,900		7,000		17,900		
	国支出金	272,200		0		272,200		
	県支出金	0		0		0		
	地方債	240,700		0		240,700		
	その他	0		0		0		

## 実施計画書（補正予算）

<b>事業名</b>		防災・災害対策事業費			枝番	単位事業名	「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）								
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%						
	個別計画									
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを							
<b>実施主体</b>		養父市			担当課	危機管理室 防災安全課				
<b>会計区分</b>		一般会計					当初補正区分	補正予算		
<b>予算費目</b>		款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	災害対策費
<b>根拠法令等</b>		災害対策基本法								
事業目的	対象	市民及び市職員、消防団員								
	背景と目的	<p>養父市における防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築を目的に、養父市が災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災資機材の配備や災害現場で役立つ実践的な研修を行う。</p> <p>また、周辺自治体との災害時相互応援などの体制づくりを推進する。</p>								
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>【防災資機材整備】 28,416千円                      災害発生時に迅速に行動できる資機材と倉庫を整備する。                      防災倉庫1棟、救助艇1機、発電機及びLED照明15セット、発電機及びブルーヒーター39セット、消火訓練セット1セット、煙体験ハウスセット1セット、油圧ショベルアタッチメント2台                      （経費内訳）                      需用費600千円、委託料1,500千円、工事請負費10,036千円、備品購入費16,280千円</p> <p>【人材育成研修】 1,399千円                      大規模災害に備えるため、油圧ショベル、スライドダンプ、救助艇、ドローンなどの機材を有効に操作できる人材を育成するとともに、高齢者に対する自助共助の思想を啓蒙するために、女性消防団員や女性防火クラブのメンバーに対し、基本研修を実施する。                      小型車両系建設機械操作研修、重機操作研修、女性消防団員等育成研修                      （経費内訳）                      旅費629千円、委託料390千円、研修負担金380千円</p> <p>【歳入】 B &amp; G財団助成金 29,699千円</p>								
	区分	既決予算額（千円）			補正予算額（千円）			予算総額(千円)		
事業費		0			29,815			29,815		
財源内訳	一般財源	0			116			116		
	国支出金	0			0			0		
	県支出金	0			0			0		
	地方債	0			0			0		
	その他	0			29,699			29,699		

## 実施計画書（補正予算）

事業名		農地農業用施設過年補助災害復旧事業費		枝番		単位事業名				
まちづくり計画	柱	「地域」_つながりを力に開かれたコミュニティがあるまち					ページ番号			
	施策	2-3_次代を拓く農林業の推進（農林業）								
	10年後の数値目標①	出生数 150人		10年後の数値目標②	暮らしのなかで異なる世代の人とつながり・つきあいがある人の割合 90%					
	個別計画									
	横断的行動指針(SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを			15	陸の豊かさを守ろう			
実施主体	養父市			担当課	災害復旧プロジェクトチーム					
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算			
予算費目	款	11	災害復旧費		項	2	農林水産業施設災害復旧費	目	1	農地農業用施設災害復旧費
根拠法令等	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律									
事業目的	対象	用水路2か所、農道橋2か所、頭首工1か所								
	背景と目的	令和5年8月14日から16日にかけての台風7号災害により被災した農業用施設を復旧する工事のうち、県土木の工事と併せて実施する必要があるもの等、工期が長期に渡るものを計上する。								
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>【歳出】</p> <p>災害復旧工事費 130,500千円</p> <p>用水路（2か所） 16,900千円（椿色区）</p> <p>農道橋（2か所） 103,600千円（大谷区）</p> <p>頭首工（1か所） 10,000千円（椿色区）</p> <p>うち繰越明許費 99,000千円</p> <p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県支出金 農業用施設災害復旧事業費補助金 127,107千円</li> <li>・ 地方債 農地及び農業用施設補助災害復旧事業債 2,700千円</li> <li>・ その他 農地及び農業用施設災害復旧費分担金 401千円</li> </ul>								
区 分	既決予算額（千円）		補正予算額（千円）			予算総額（千円）				
事業費	0		130,500			130,500				
財源内訳	一般財源	0		292			292			
	国支出金	0		0			0			
	県支出金	0		127,107			127,107			
	地方債	0		2,700			2,700			
	その他	0		401			401			